

東罐興業、東罐ロジテックが「物流 2024 年問題」対策として 製品輸送の鉄道モーダルシフトを拡大 － 温室効果ガス排出量 8 割削減に向けて－

東洋製罐グループホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：大塚一男）の連結子会社である東罐興業株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 笠井俊哉、以下「東罐興業」）および東罐ロジテック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 川合秀治、以下「東罐ロジテック」）は、「物流 2024 年問題」への対策の一環として、長距離のトラック輸送から貨物鉄道輸送へのモーダルシフトを推進しています。そしてこのたび、物流事業を手掛ける東罐ロジテックが新たに 31ft 私有コンテナを 2 基導入し、東罐興業の製造する包装容器の貨物鉄道輸送を開始しました。

この取り組みを通じてトラックによる輸送時間・輸送量の大幅な削減を進めることで、温室効果ガス（GHG）排出量を 79%削減することを目指していきます。



東罐ロジテックでは、生産工場から在庫拠点までの安定的な輸送力確保に向け、競争力のある代替輸送を検討してきました。これまで 12ft コンテナによる貨物鉄道輸送を実施してきましたが、さらなる積載効率向上を図るため、31ft 私有コンテナを 2 基導入しました。これにより、現在計画している 3 つの輸送区間において年間 840t（31ft コンテナ 168 個分）の輸送を予定しています。

なお、この取り組みは国土交通省の「物流効率化法」に基づく事業認定を受け、「モーダルシフト加速化緊

急対策事業」として補助対象にも認定されています。

今後も当社グループは、物流の効率化を推進し、「物流 2024 年問題」に対しての積極的な対策と環境負荷低減に向けた取り組みを通じて、安定したサプライチェーンの継続を進めてまいります。

■ 取り組み内容（計画）

- ・輸送品目：東罐興業の小牧工場、静岡工場、福岡工場で生産された飲料メーカー、ファストフード、CVS 向けなどの飲料・食品用包装容器（紙・プラスチック製品）
- ・輸送区間：①西浜松駅（発地・静岡工場）～福岡貨物ターミナル（着地・福岡倉庫）
②名古屋貨物ターミナル駅（発地・小牧工場）～福岡貨物ターミナル駅（着地・福岡倉庫）
③福岡貨物ターミナル駅（発地・福岡工場）～西浜松駅（着地・大東倉庫）
- ・輸送量：年間 840t（31ft コンテナ 168 個）

■ 本取り組みによる 2025 年度に向けた目標

- ・トラック輸送時間削減：1,601 時間から 286 時間へ削減
（省力化時間：1,315 時間 省力化率：82.2%）
- ・トラック輸送量削減：668 千トンキロから 55 千トンキロへ削減
（転換量：613 千トンキロ 転換量転換率：91.8%）
- ・GHG 排出量：112.1t から 23.4t へ削減
（削減量：88.7t 削減率：79.1%）

東罐興業について

東罐興業は、1943 年の創業以来、紙とプラスチックを素材とした、数多くの包装容器を世に送り出してきました。特に紙コップは、国内のリーディングカンパニーとしてお客様の幅広い要望にお応えし、自然環境に配慮し、多様なライフスタイルに合った製品を提供しています。「社会のニーズと自然環境に調和した製品とシステムを創造し生活文化の向上に貢献する」ことを経営理念に掲げ、その実現のために従業員の個性と多様性を生かし、包装容器の「変革」と「創造」に挑戦し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

<https://www.tokan.co.jp/>

東罐ロジテックについて

東罐ロジテックは、1993 年創業の東洋製罐グループの総合物流カンパニーです。多種多様な取り扱い品目のうち、特に消費者に身近な飲料・食品向け包装容器を数多く取り扱っており、食品と同レベルの管理が求められることから高品質な物流サービスを提供しています。

物流 2024 年問題がクローズアップされる中、将来の課題に真摯に向き合いながら最適なロジスティクスを構築するとともに、お客様に対し、安全かつ安定したサービスを提供し続けることで顧客企業のビジネスを支援していきます。

<https://www.tokan.co.jp/logitech/>

東洋製罐グループについて

東洋製罐グループは、金属・プラスチック・紙・ガラス等、それぞれの素材が持つ特性を活かした様々な容器をグローバルに提供する総合包装容器メーカーです。包装容器事業のほか、エンジニアリング・充填・物流事業、銅板関連事業、機能材料関連事業、不動産関連事業の5つの事業を有しています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を2021年5月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進していきます。

1917年に創立し、国内45社（東洋製罐グループホールディングス含む）、海外47社のグループ会社を擁し、約20,000人の従業員が働いています。2024年3月期の連結売上高は9,506億円です。

<https://www.tskg-hd.com/>

■お問い合わせ先

東洋製罐グループホールディングス株式会社

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・高田・柿本

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg_contact@tskg-hd.com

以 上